

別記第1号様式(第7関係)

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		令和4年度 第1回豊島区災害医療検討会議
事務局(担当課)		地域保健課
開催日時		令和5年3月15日(水) 午後7時30分～午後9時
開催場所		池袋保健所 1F 講堂
議 題		<p>1 災害医療コーディネーターの委嘱 (1) 委嘱状交付</p> <p>2 議 事 (1) 災害医療体制の整備状況について(令和元年度～4年度) (2) 令和4年度災害医療対策訓練の実施報告 豊島区災害医療対策訓練 (トリアージ訓練、緊急医療救護所立ち上げ訓練、保健所職員 図上訓練) (3) 令和5年度災害医療対策訓練の実施について</p> <p>3 その他</p>
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由

出席者	委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長：池袋病院院長 (区災害医療コーディネーター) 川内 章裕 ・ 副会長：大同病院院長 (区災害医療コーディネーター) 島本 周治 ・ 帝京大学医学部附属病院准教授 問田 千晶 ・ 要町病院副院長 (区災害医療コーディネーター) 吉澤 明孝 ・ 都立大塚病院副院長 (区災害医療コーディネーター) 三部 順也 ・ 岡本病院院長 岡本 由美 ・ 長汐病院院長 保富 俊宏 (欠席) ・ 原整形外科病院院長 原 えり ・ としま昭和病院院長 大部 雅英 ・ 豊島区医師会会長 平井 貴志 (欠席) ・ 豊島区医師会副会長 安田 正秀 ・ 豊島区医師会理事 上川床 裕 ・ 豊島区医師会理事 北堀 和男 ・ 豊島区産婦人科医会会長 坂田 優 ・ 東京都豊島区歯科医師会副会長 林 健博 ・ 豊島区薬剤師会常務理事 田崎 崇 ・ 東京都柔道整復師会 豊島支部長 無藤 龍雄 ・ 南池袋訪問看護ステーション所長 厚美 道子 ・ 豊島区在宅医療連携推進会議 リハビリテーション部会部会長 小林 寿美 ・ 東京都助産師会豊島地区分会会長 鈴木 享子 ・ 東京都鍼灸師会会長 土肥 康子 ・ 池袋保健所長 (区災害医療コーディネーター) 植原 昭治
	その他 行政関係者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 池袋警察署 警備課長 上村 和也 ・ 巣鴨警察署 警備課長 千葉 健睦 ・ 目白警察署 警備課長 高原 敬 ・ 豊島消防署 警防課長 伊藤 淳 (当日は代理人が出席) ・ 池袋消防署 警防課長 吉永 忠司 (当日は代理人が出席)

	事務局	<ul style="list-style-type: none">・危機管理監 岡谷 晃治・防災危機管理課長 有村 博和（当日は代理人が出席）・地域保健課長 坂本 利美・生活衛生課長 副島 和哉・長崎健康相談所長 大須賀 裕子 (欠席) ・防災危機管理課防災危機管理担当係長（防災計画）・地域保健課担当係長（管理 G）【他 2 名】・健康推進課担当係長（統括保健師 G、支援計画 G）・生活衛生課担当係長（医務・薬事 G）
--	-----	--

審 議 経 過

地域保健課長

時間になりましたので、会議を始めさせていただきます。

1 災害医療コーディネーターの委嘱

(1) 委嘱状交付

池袋保健所長

委員の方のご紹介・会長選出を行いたい。委員名簿に沿って紹介。

～各委員、その他行政関係者、事務局挨拶。～

池袋保健所長

災害医療検討会議委員任期は令和4年4月1日から令和6年3月31日までとなっております。委員の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

会長の選任に移ります。豊島区災害医療検討会議設置要綱第5条第1項により、会長は委員の互選とすることとなっております。どなたかいらっしゃらないでしょうか。

委員

川内委員が適任と思います。よろしくお願いします。

池袋保健所長

只今、川内委員にお願いしたいとの推薦がありました。川内委員いかがでしょうか。

川内委員

島本先生の後ということで大変荷が重いですが、皆様のご推薦下さるということであれば務めたいと思います。宜しくお願い致します。

【拍手】

池部袋保健所長

ありがとうございます。続きまして、豊島区災害医療検討会議設置要綱第5条2項に基づき、職務代理である副会長を指名する必要があります。職務代理者に関しましては、川内会長から指名していただきたいと思ひます。

会長

島本先生に副会長をお願いしたく思います。いかがでしょうか。

【拍手】

池袋保健所長

島本先生いかがでしょうか。

島本委員

これから災害医療は勉強してがんばっていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

【拍手】

池袋保健所長

ありがとうございます。

続きまして、議事に移ります。令和元年度から令和4年度までの災害医療整備状況について地域保健課長、続いて防災危機管理課防災計画グループ係長から説明を願ひます。質疑の時間は説明の後に行います。

2 議 事

(1) 災害医療体制の整備状況について（令和元年度～4年度）

地域保健課長より資料4、別紙1～4について説明

防災危機管理課防災計画グループ係長より資料4、別紙5について説明

委員

何回か訓練に参加しているが、地域の町会等との連携はどうなるのか。地域に根差した訓練をしていかないと区民が医療救護所がどこにあるのかわからないのではないかと。有効性を発揮できないのではないかと、訓練の幅を広げて頂きたい。

会長

地域の町会とのコミュニケーションは区にやっていただく必要がある。今の高層マンションの住民などは町会や自治会に入っていないかたりする。防災のことはここに連絡してください等、周知について、区に持ち帰って検討してほしい。

委員

別紙 1「緊急医療救護所一覧」の医療資器材保管場所と緊急医療救護所の開設場所は同じだったか。

地域保健課長

各緊急医療救護所の医療資器材保管場所と緊急医療救護所開設予定場所を説明。

委員

当院は、小さい家が密集している地域にあり、災害が起きた際は塀や家が倒壊して恐らく孤立するだろうと考えている。実際に災害などあった際には、目白通りから車 1 台分の幅は確保したいので、塀を補強する等補助して頂きたい。

また、病院の駐車場に災害トイレのようなものを設置できないか検討してほしい、災害時に病院が資材等運べるように災害時対応自動車として警察から許可証を認めて頂けると大変ありがたいと以前提案をした。機会があれば、検討をお願いしたい。

会長

車を豊島区から供与してもらうということか。

委員

災害時に動けない、使い慣れていない車ではなく、普段病院が使用している車で災害対応時に走行許可してもらえそうな仕組みを作って頂けないだろうか。

委員

軽自動車なら災害時の患者移送に有効に使えていると言われていたので、区から警察に許可を取れるように検討してほしい。

委員

医療搬送については、外から来る救援部隊、いわゆる DMAT 隊が被災情報にあわせて救急車・救急ヘリなどを派遣し、患者搬送をすることになっており、都の災害コーディネーターに情報が入ってくれば医療救護班の派遣も可能になる。豊島区内でどこにどのような患者がいるか、どのような医療ニーズがあるかを把握するところから、救護の体制が始まるので、まずは情報の集約化と情報共有のツールを整備していただければと考えている。地域の防災体制については、再度勉強して対応できるようにしていく。

2 議 事

(2) 令和4年度災害医療対策訓練の実施報告

(3) 令和5年度災害医療対策訓練実施について

地域保健課長より資料5について説明

地域保健課長

令和5年度も昨年同様3種類の訓練を実施したい。図上訓練については早々に実施していければと考えている。また通信訓練、無線を利用した訓練を実施していく予定である。緊急医療救護所立ち上げ訓練は定期的に1か所ずつやっていきたいと考えている。

委員

(トリアージ)赤タグの患者さんをいかに助けるか、都立大塚病院や帝京大学医学部附属病院等につなげるかが人命救助の最大のポイントではないのか。緊急時車両の話も全てそこにつながっている。災害時は、緊急医療救護所に区民に来てもらうように周知してもらいたい。訓練も大事だが、広報活動も一緒に考えてほしい。

池袋保健所長

様々なタイミングでしっかりと周知をしていきたい。

委員

電気が止まった場合に、在宅医療を受けられている難病患者さんが自家発電機を使って人工呼吸器を動かせることが出来るよう、緊急医療救護所に行かなくてもよいように普段から整備しておくのが大事かと思う。

委員

難病の方には、保健所から自家発電機購入費の助成が受けられるようになっている。防災時、自宅に問題がなく、健康に心配がない場合は、自宅で待機をしてもらうことが前提なので、そこは間違えないようにしなければいけない。

会長

まず、基本的なこと、目の前のことから検討を始めていかないと、この会議の成果はない。警察も消防も大きな災害の際は、限界がある。医療についても同じ、都立大塚病院も同じことが言えると思うがいかがか。

委員

災害時にライフラインが止まった場合、どこまで赤タグの人を受け入れられるかにも限

界があるので、地道にやっていきたい。

会長

細かい疑問等を次の会でまた議論に上がるようにしてほしい。これまで出た課題や要望に対しての検討と回答をお願いしたい。

池袋保健所長

頂いたご意見に対しては真摯に検討していきたい。活発なご意見ありがとうございました。これで令和4年度第1回豊島区災害医療検討会議を終了致します。

提出された資料等	<p>資料1 豊島区災害医療検討会議設置要綱</p> <p>資料2 豊島区災害医療検討会議委員名簿</p> <p>資料3 豊島区災害医療コーディネーター名簿</p> <p>資料4 災害医療体制の整備状況について（令和元年度～令和4年度）</p> <p>別紙1 緊急医療救護所一覧</p> <p>別紙2 風水害時の救援センター医療救護所の体制について</p> <p>別紙2-2 （参考）避難者カード</p> <p>別紙3 緊急医療救護所用タブレットの配備について</p> <p>別紙4 東京都の小児周産期医療体制について</p> <p>別紙5 豊島区における被害想定</p> <p>資料5 令和4年度豊島区災害医療対策訓練実施報告</p>
----------	--